

避難訓練（地震） H29/1/12（金） 育友会広報部：記

3学期が始まって間もない寒空の中、避難訓練（地震）が行われました。



各教室では、地震の際の避難方法を先生から教えてもらいました。

教室なら机の下、窓やドアは開ける、津波のときは体育館へ逃げる…。

先生の話をも、子どもたちは真剣に聞き入っていました。



10：50、「地震です…」の放送が入るとすぐ、児童はすばやく机の下へ。先生は、児童の様子をチェック！実際の揺れを想定して「机の脚を持って！」と指示。先生も教壇の下へ。

その後、靴袋を頭上に持って、校庭へ避難しました。要した時間は、3；48。とても優秀です！



先生方の数人は、建物の損壊状況を調べに校舎へ戻りました。8分後に津波が来るという想定なので、今度は体育館へ避難します。子どもたちを安全に体育館まで連れて行けるルートをここで判断するのですね。



体育館へ移ったあと、阪神淡路大震災で亡くなった方々への黙祷を捧げました

いつ起こるかわからない地震や津波。「そのとき」にどんな行動をとれば良いのか、みんなで考えました。
(教室で見ているのは、気象庁製作 DVD「津波からにげる」)

